

2005年

6

月号

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No. 141



岡本一平画「ヴェニスの相合船」(世界一周図会から)

もくじ

- 2 アカデミーの窓
- 3 まなびの広場
- 4 特集 ふれあいサマーキャンプ
- 6 芸術・文化ロード
- 7 まち・ひと・多面体／くらし百景 歌壇
- 8 イベントパーク

発行・(財)川崎市生涯学習財団

〈ホームページ〉<http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

TEL 044 (733) 5560(代) / FAX 044 (739) 0085

ステージ・アップ直通 TEL 044 (733) 5811 E-メール: stage-up@kpal.or.jp

アカデミーの窓

かわさき市民アカデミーの情報

開講式記念講演

「天寿を全うする科学技術～光触媒を例にして」

藤嶋 昭さん(神奈川科学技術アカデミー理事長)

4月8日、かわさき市民アカデミー第14回開講式が行われました。今年度は、約200人の新会員を含め、延べ2300人の受講生を迎えての出発となりました。

開講式後に行われた記念講演では、川崎市市民栄誉賞を受賞した光触媒研究の第一人者、藤嶋昭さんが「天寿を全うする科学技術」と題し、光触媒の技術について話されました。以下、藤嶋先生の講演内容の一部をご紹介します。



参加者の質問に答える藤嶋さん

■講演要旨■

どの人も天寿を全うすること、快適に健康を保ちながら全うすることに少しでも寄与すること、それが私の研究の第一目的。世の中に役に立つ科学技術でなければ本物ではないと思っている。私がこれまで研究してきた光触媒を利用すればこの目的に近づけるとしている。

では、光触媒とは何か。簡単に言うと、光が照射されることによりそれ自体は変化しないが、化学反応を促進する物質のこと。植物の光合成と同じような反応と考えればわかりやすい。私の研究は酸化チタンを使った光触媒である。では酸化チタンとは何かというと、日常使われている白色顔料で、ハミガキ剤や化粧品などに利用されている。この酸化チタンに光を当てると強い酸化力が得られ、そのものは変化しないが表面についたものは分解する。このメカニズムを応用しクリーン技術として「抗菌・殺菌」「防汚・防曇」「空気や水の浄化」などの分野で製品化されるようになった。

たとえば、丸ビルやMMタワーズなどのビルはタイルに酸化チタンをコーティングしているので汚れがつかない。このような外装建材を使った建物が、すでに5千棟以上になっている。昨年7月、KSP一階に光触媒ミュージアムを開設し、光触媒の歴史や原理、応用製品の展示などを行っている。

私の家に中国の方からいただいた「物華天宝」という掛け軸がある。この言葉の意味は「科学の成果は天に用意されている宝で、それを探してきて人類のために使う」ということ。私は科学者として人類のために役に立つよう研究していこうと日々考えている。

講師紹介

十八番は「白い花の咲く頃」

「文学」コース 岡田 武雄

和田あき子先生は、いつも明るく大きな声である。「あ～今日遅刻しちゃった、ごめん…」そんな時も、穏やかにニコニコしている。先生にはいくつもの顔がある。①専門はロシア文学史の研究家。『夫・ブハーリンの思い出』他、何冊もの著訳がある。②千葉県三芳村と提携した「安全な食べ物をつくって食べる会」の活動家である。③大泉学園に住まれ、藤沢周平氏とは近隣であったご縁で「藤沢周平と大泉の会」の代表となった。④和田春樹東大名誉教授夫人である。夫君は以前あき子先生の代役として文学演習、大岡昇平「野火」の名講義をされた。⑤そしてアカデミー創立以来の講師として、ワークショップ「川崎の文学を読む」の先生でもある。このワークショップでは各自がみな、自由にいきいきと発言している。それは先生の明るい人柄と「文学はどのように読んでもよい」という懐深さにあるのでは、と思っている。

何度かご一緒に旅をした。また小さな旅をして、美酒もよし、卓を囲むもよし、十八番の「白い花の咲く頃」を聞いたものである。

はじめての和田あき子先生

「文学」コース 小林 英子

成績優秀(決してガリ勉ではなく)で、もちろん運動は何でもござれ。ちょっぴり勝気で、乱暴な男子も一目おくクラスの人気者。和田あき子先生の中学・高校時代を勝手に想像

プロフィール

和田 あき子(わだ・あきこ)
1938年岐阜県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。専攻ロシア文学史研究。東京外国語大学、東京大学講師などを経て、かわさき市民アカデミー文学担当講師。藤沢周平と大泉の会代表。著書『藤沢周平の世界へようこそ』他。



してしまいました。どうかお許しください。

私は、昨年初めて文学自主講座(後期)に参加しました。まだ日は浅いのですが、先生の明るい笑顔と、受講生一人ひとりへの温かいまなざしに毎回圧倒されています。また、先生の「文学には正解はないのです」というお話に、ただ本を読んで感想を語り合う内容の講座とは違う世界の広がりを感じています。今年度のワークショップ「川崎の文学を読む」の講座を受講することで、今まで以上に川崎に対する思いが膨らむ予感がします。そして自分の文学観がどう変化していくかとても楽しみです。と同時に和田先生のご専門のロシア文学史の著作にも、勇気を出して挑戦してみようと思っています。

「陶芸教室」受講者募集

陶芸は「作る楽しみ」「観る楽しみ」「使う楽しみ」と、3つの楽しみを味わうことができます。ひんやりした土の感触に親しみながら無心になれる時間は、心安らぐひとときでもあります。手作りの「オンリーワンの器」に花を生けたり料理を盛ったりと、これまでの生活にもう一つ潤いをプラスしてみたいはいかがでしょうか。

【期間】

- ・「水曜手びねり」及び「水曜ロクロ」コース
7月27日～11月16日 全12回
- ・「土曜手びねり」及び「土曜ロクロ」コース
7月23日～11月5日 全12回

【時間】

- ・手びねりコース 9:30～12:30
- ・ロクロコース 13:30～16:30

【対象】

18歳以上の市内在住・在勤者。
ロクロコース希望者は手びねり経験者に限る。

【定員】

- ・手びねりコース…各15人
- ・ロクロコース …各10人
(各コースとも定員超過の時は抽選)

【費用】

- ・手びねりコース…27,500円 (材料費・焼成料含む)
- ・ロクロコース …33,500円 (材料費・焼成料含む)

【申し込み方法】

往復はがきに、受講したいコース名(水曜手びねり・水曜ロクロ・土曜手びねり・土曜ロクロ)を記入し、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえ下記までお送りください。

【申し込み先】

〒211-0064川崎市中原区今井南町514-1
川崎市生涯学習財団 事業推進室「陶芸教室」係

【締め切り】 6月18日(土)必着

問い合わせ 事業推進室 ☎ 044(733)5894



ボランティアで学びを支援 ～教育人材センター

下の写真は、幸区社会福祉協議会で12回にわたって行われた園芸講座の一コマで、栽培用のガラス容器「テラリウム」に植物を入れているところです。「なかなかうまくできないわ」「先生どうしたらいいですか」「やっとうまくいった!」と楽しそうに実習していました。この講座の講師を務めたのは教育人材センターから派遣された川口重治さん。「丁寧に教えてくれる」との定評があり、何度か講師として依頼に応じています。



『秋も深まった11月13日、平自治会館にて婦人部主催の講演会を実施しました。講師は中川みつ子先生。ご自身の経験と知識を困っている人の役に立てればと川崎市教育人材センターに登録していました。参加者に東洋医学を理解してもらえるように、と資料を用意してありましたので、お話はわかりやすく参考になりました。加齢と共に身体に起こる痛みをどのように治療したら良いかなど、私達の生活に役立つ内容でしたのでとても良かったと思いました』(平日影自治会広報紙より)

川崎市教育人材センターから講師を派遣した講座の様子を二つ紹介しました。同センターでは川崎市の学校を退職した教職員が、ボランティアとして専門分野ごとに皆さんの学習活動の支援をしています。小学校での絵画や茶道の指導、PTAの家庭教育学級の講師、囲碁や手品など趣味の会のアドバイザー、英会話や健康教室などの講師として派遣しています。

「講座を開きたいが講師がない」「子どもの教育のことで悩んでいる」「パソコンをゆっくり教えてほしい」など、講師をお探しの方はご連絡ください。教育人材センターに登録している退職教職員の中からご要望にかなう人をご紹介します。

★「人材ガイド」を無料で差し上げます★

「人材ガイド」(A4判10ページ)には、107人の指導内容がジャンルごとに掲載されています。ご希望の方は140円切手を同封し、下記へお申し込みください。

〒211-0011中原区下沼部1709-4

川崎市教育会館内 教育人材センター
問い合わせ 川崎市教育人材センター ☎ 044(435)7474

財団主催の講座・相談・貸館などの情報

まなびの広場

特集 ふれあいサマーキャンプ

山・川・海で 思いっきり遊ぼう

1990年に始まった「ふれあいサマーキャンプ」。今年も北海道岩見沢市ほか12市町村で行います。このサマーキャンプの最大の特徴は「広大で豊かな自然の中で思いっきり遊び、楽しむことができる」ことです。そして、地元の子どもたちとの交流や、地域の文化に直接触れるなどの体験もできます。

15年間の参加者は3,700人を超え、各市町村では川崎子ども大使として温かく迎えてくれます。キャンプを通じての新しい出会いやたくさんの発見は、夏休みのすばらしい思い出となることでしょう。小中学生のみなさんの申し込みをお待ちしております。



溪流つりに挑戦する子どもたち
(北海道中標津コース)



収穫したじゃがいもを前ににっこり
(北海道岩見沢コース)

コース	日程	対象/定員	プログラム	参加費(円)
北海道 中標津町	8月22日(月)～25日(木) 3泊4日	小5～中2 44人	往復飛行機。ハイキング、溪流つり、じゃがいもほり・学校交流など	小58,000 中63,000
北海道 岩見沢市	8月20日(土)～23日(火) 3泊4日	小5・6 22人	往復飛行機。キャンプ、じゃがいもほり、玉ねぎほり、学校交流、ホームステイ2泊など	小48,000
岩手県 東和町	7月29日(金)～8月1日(月) 3泊4日	小5・6 60人	往復新幹線。ホームステイ3泊、学校交流、さき織り、和紙作り、施設見学、農家生活など	小35,000
長野県 富士見町	7月28日(木)～8月1日(月) 4泊5日	小5～中2 44人	往復貸切バス。ハイキング、おっこうまつり参加、ハイキング、そばうちなど	小中 22,000
和歌山県 古座川町	8月3日(水)～6日(土) 3泊4日	小5・6 22人	往復新幹線と在来線特急。カヌー、川遊び、子ども交流、熊野古道ウォークなど	小37,000
宮崎県 日向市 門川町	7月31日(日)～8月3日(水) 3泊4日(船中1泊)	小5～中2 22人	往路新幹線とフェリー。復路飛行機。ホームステイ1泊、漁業体験、無人島、陶芸、海水浴、地元子どもたちとの交流など	小53,000 中63,000
宮崎県 東郷町 南郷村		小5・6 22人	往路新幹線とフェリー。復路飛行機。川遊び、カヌー、陶芸体験、おかし作り、すいかわり等	小50,000
宮崎県 西郷村 北郷村		小5・6 22人	往路新幹線とフェリー。復路飛行機。川遊び、豆腐作り、木工工作、流しそうめん、星の観察等	小52,000
宮崎県 椎葉村 諸塚村		小5・6 22人	往路新幹線とフェリー。復路飛行機。川遊び・カヌー、ハーブ作り、子ども交流、キャンプファイヤー等	小51,000



巨大な牛舎で子牛にふれる
(北海道中標津コース)



地元の「オッコウ祭り」に
手作りの衣装で参加
(長野県富士見町コース)

楽しすぎて笑っちゃうよ！アハハ！

6年 長谷川 咲 (長野県富士見町コース)
最初は一人で来たから、とても不安で自信がもてないでいたけど、みんなやさしい人たちでうれしかったです。オッコウ祭りでは賞がとれてうれしかったし、ハイキングはつかれたけど、景色がきれいで何枚も写真をとってしまいました。最後には家に帰りたくないほどでした。

**北海道
中標津町**

人より牛の多い酪農の町

**北海道
岩見沢市**

札幌のベッドタウンと農業の町

**岩手県
東和町**

イーハトーブ・まほろばの里

**長野県
富士見町**

自然と星空
八ヶ岳の魅力

川崎市

**和歌山県
古座川町**

熊野の大自然はほんまもん

宮崎県 海

①日向市・門川町

宮崎県 山

- ②東郷町・南郷村
- ③西郷村・北郷村
- ④椎葉村・諸塚村

海や山でのプログラムが
もりだくさん



日向地方の耳川でカヌーを楽しむ
(宮崎県東郷町・南郷村コース)



真剣な表情ではた織りを教わる
(岩手県東和町コース)

楽しかった北海道！
5年 松本 朋子
(北海道岩見沢コース)
初めての北海道。3泊4日という短い間でいろんなことをした。一番楽しかったことはじゃがいもほりです。最初「かごいっぱい」と聞いて、そんなにとれるのかな?と思いました。でも少しほっただけで大きいじゃがいもが出てきてびっくりしました。

楽しかった和歌山県！

5年 一色 春香 (和歌山県コース)
私は、この和歌山県コースサマーキャンプをとても楽しみにしていました。中でも楽しかったのは「キャンプファイヤー」と「ホームステイ」です。「キャンプファイヤー」では、はじめてあんなに大きな火を見ました。ゲームもおもしろかったです。おぼえたゲームを川崎に帰ったらみんなに教えてあげたいです。

申し込みはファックスまたはハガキで 6月18日(土)必着

申し込みの際は、希望者全員(2人以内)の住所、氏名(ふりがな)、☎、性別、学校名・学年、希望コース(第2希望まで)・過去の参加の有無を明記し、下記までお送りください。定員を超えた場合は抽選となります。

当選者は後日説明会に保護者同伴で参加してください。

●あて先● 〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1 川崎市生涯学習財団 事業推進室「サマーキャンプ」係
●FAX● 044(733)6697 ※問い合わせ ☎044(733)5893(月～金) ☎044(733)5560(土・日)

サマーキャンプのホームページ <http://www.kpal.or.jp/summercamp/>

藝術文化ロード

このコーナーでは、日本民家園、市民ミュージアム、青少年科学館、岡本太郎美術館の施設を紹介します。それぞれの館の特色や見どころを順次掲載します。今回は川崎市市民ミュージアムからお届けします。

展覧会を楽しむヒント

—川崎市市民ミュージアム—

川崎市市民ミュージアムは、美術館と地域博物館、そして映画やビデオの収集・上映を行う映像センターの機能をあわせ持つ複合施設です。中原区の等々力緑地の中にあり、美しい自然を満喫しながらコンサートなどの催しも楽しんでいただけます。

さまざまな催しを行う当館ですが、中心になるのはやはり展覧会活動です。今回は、展覧会を楽しく見ていただくためのヒントをいくつかご紹介いたします。

主催者の挨拶文

会場に入るとまず掲げられているのが、主催者の挨拶が記されたパネルです。この主催者挨拶には、展覧会の内容や企画者の意図、開催に至った経緯、そしてどこから作品を集めてきたか、などの情報がコンパクトにまとめられているので、前を素通りせず一読しておくくと展覧会が理解しやすくなって便利です。

展示にストーリーあり

どのような展覧会でも、作品や資料が無作為に並んでいることはありません。たいていそこには展示のストーリーというものがあります。つまり企画者が、その展覧会で訴えたいことを、どのような構成にすればわかりやすく伝えられるかを考えて作り上げた流れです。このストーリーを大体つかんでおけば、個々の作品や資料がどのような意味を担ってそこに置かれているかがわかってきて、より興味深く展示を見ることができでしょう。このストーリーは、さきほどの主催者挨拶からつかむこともできますし、解説パネルなどに書かれていることもあります。あるいは特に示されていない場合でも、見ているうちにわかってくる場合もあります。なお、ストーリーを無視して作品を鑑賞するのも自由です。

キャプションとは…

作品や資料にはたいていそばに札がついています。この札をキャプションと呼んだり、ネーム、プレートなどと呼んだりします。ここには、その作品や資料が何であるかを示すた



現在開催中の企画展

めの最低限の情報が記されています。美術作品の場合は作者、題名、制作年、技法、材質、所蔵者等の情報が一般的ですが、内容や文字の大きさについて、実は葛藤があります。多くの情報を大きな文字で表示するのが親切なわけですが、それではキャプションが大きなものになってしまい、実際に作品のそばに取り付けると、とてもうるさく、鑑賞の邪魔になってしまうことがあります。といって小さな文字、小さなキャプションにすると、文字が読みにくくなってしまいます。私の形態をやめて、印刷された出品リストを用意することもあります。作品は番号順に展示されているとは限らないので、手元の紙で作品を探すのが面倒な場合もあり、決定的な解決策とは言えません。

順路は一筆書き？

会場内の順路についても悩みはあります。会場内を行ったり来たりせず、一筆書きの動線で展示品を見られると、見落としもなく疲れも少ないのですが、空間の制約でそれが不可能なことがあります。また、見る順序にはあまりとらわれてほしくない、一筆書きでは窮屈だ、と企画者が考える場合もあり、正解と言える方法はないようです。

展覧会に気軽においでいただくきっかけになれば、と書き始めたこの文章、最後は悩み事相談の趣になってしまいました。展覧会場の事情通になって、楽しみを深めていただければ幸いです。
(学芸員 中山久美子)

●川崎市市民ミュージアム企画展のお知らせ●

◆時代を切り開くまなざし—木村伊兵衛写真賞の30年—1975—2005

写真界をリードしてきた「木村伊兵衛写真賞」受賞作家36人の仕事を一挙に公開

・会期：6月19日(日)まで ・観覧料：一般700円、学生400円、中学生以下・65歳以上無料

◆ロシア民族学博物館アイヌ資料展—ロシアが見た島国の人びと

・会期：7月2日(土)～8月28日(日) ・開館時間…9:30～17:00(入館は16:30まで)

月曜日(祝日の場合は開館)と祝日の翌日は(土・日の場合は開館)休館。問い合わせ… ☎ 044(754)4500

交通…武蔵小杉駅(JR・東急東横線・目黒線)北口からバスで約10分 <http://home.catv.ne.jp/hh/kcm/>

同館は、マンガ作品や資料の収集、企画展開催などが評価され、第9回「手塚治虫文化賞」(朝日新聞社主催)の特別賞を受賞しました。

まち・ひと・多面体

公園で楽しくコミュニティーづくり

「木こりの会」

自然環境を生かしたコミュニティーづくりをめざしているグループが市内にいくつかあります。麻生区にある「木こりの会」(柳下和夫代表 会員27人)もその一つで、4年前から活動を始めました。同会は、王禅寺東地区の新興住宅の方々を中心としたボランティアグループで、「籠口ノ池公園」、「化粧面谷公園」、「まつき緑地」など樹木や竹林の多い3ヵ所を整備しています。毎週水曜日と土曜日の午前中2時間、さまざまな作業を地道に行っています。

取材に伺った日は雨が降っていたので、作業は行われませんでした。前代表の竹中司郎さんに公園内を案内していただきました。春のこの時期は、20数年間放置された公園・緑地のコナラ、クスギ、ヤマザクラなどの間伐整備をする他、3ヵ所合わせて約3ヘクタールの公園の広場の草刈りや散歩道の修理など、作業は多彩です。

「当時、『籠口ノ池公園』は笹が生い茂り、日中でも暗く、ひどく荒れていました。防犯上も危険を感じ、自治会活動とは別に有志を募り、緑あふれる明るいすてきな公園にしようと活動を始めました」と竹中さんは振り返ります。

同会では、発足時に北部公園事務所と公園の整備や管理について提携を結び、東屋や砂場の再生、テーブルベンチの設



置などを行いました。こうして公園は見違えるほど明るい快適な空間に生まれ変わり住民の憩いの場になりました。今では、自治会と共催し、青空の下で定期的に太極拳をしたり、「お花見会」「いも煮会」「わらべうたとお囃子の会」などのイベントを行ったりと交流の場にもなっています。

竹中さんは「公園に隣接する畑を借りて焼きイモ大会をしたら50~60人の子供家族が集まってくれてうれしかったです。高齢化社会がどんどん進みますが、『遠くの親戚より近くの友達』と言われるように、新興住宅地では仲間づくりが一番大事だと思います」と終始笑顔で語ってくれました。

◆問い合わせ: 「木こりの会」 ☎ 044(987)2248の柳下さん

くらし百景

歌壇

TAMA短歌倶楽部

路の躑躅めば口中ほろ苦き味ひろがりて香りくる春
伊藤千代子

病み重り余命わずかと告げられし友に吾がなす深き祈りを
上杉 和子

町田駅広場の隅にアンデスの青年が吹くケーナの哀愁
坂元 とみ

はつなつの外房の海に向きあえば私の愚痴がのみ込まれたり
杉野 浩美

スーパードで貰いし一輪紅バラと赤飯買って父の日祝う
坂元 とみ

陶製の植木鉢なり筆立てにいっしか変わり鉛筆、消しゴム
杉野 浩美

レロイ通り路地のカフェに火酒あおる開高健の輝ける闇
杉野 浩美

通販の厚きカタログ繰り飽かぬ雨夜わたしは倦怠遊泳
杉野 浩美

捨て去りし若き日の夢ひとつづつ拾ひゆくなり老いづきて今
杉野 陽一

強風にこのままのれば直ぐにでも飛べる気にして双手掲げる
須田 史

自生地を汚しただけの十日間机の下に刷毛のころがる
須田 史

天井のシミ一点を見つめてふと浮かびたり色差しの紅
田中テル子

鶯の初音聞きつつ新品の黄色の葉笛に水満たす朝
田中テル子

自転車を馳せゆく女のリュックより子犬顔出す新緑の道
最上美津子

一輪のくれない深きバラ飾り独りの部屋にジャズをながそう
最上美津子

朝日昇る春の多摩川にぎにぎし小鷺、川鶴に鳴やすすめも
山崎 エセ

亡き夫の育てし紅梅花ひらく鉢をうつしぬ仏壇の前
山崎 エセ

気がねなく泣くも笑うも一人なる今は幸せと義兄たちに告ぐ
山崎 エセ

*最後の楽しみに短歌を詠んでみませんか、誰彼となく声をかけ、自営の店の隅でミニ歌会を始めてから十四年になります。初回からの坂元さんは、八十歳の記念に、ご主人が毛筆で歌を書き和綴じの第二歌集を編まれました。解りやすい平明な言葉の表現を軸に、楽しみながら、けれどひたむきな歌作りの会です。歌会に出られない人は通信で添削をします。歌会は原則として毎月第四金曜日午後。場所は登戸の最上宅。

問い合わせ ☎・FAX ○四四(九二二)〇〇一八 杉野浩美

情報コーナー **イベントパーク** 講座・コンサート他

●聖マリアンナ医科大学東横病院「市民健康セミナー」

6月11日(土)14時、中小企業婦人会館。「糖尿病はあなたにも」と題し糖尿病の予防と治療について斎藤宣彦・同大病院長が講演。先着100人。無料。当日直接。他に葉などの相談コーナーも設置。☎(722)2121内線521の同病院総務課。

●東芝科学館実験教室 ①アトム工房科学実験教室②GEMS探検隊③ガリレオ工房実験教室

①は6月4日(土)。10時と13時半。「ふしぎなふしぎな部屋」。対象は、小学1年生～4年生各40人。②は6月18日(土)。10時と13時半。「電気不思議」。10時は小学1年生～4年生。13時半は小学3年生～中学生。定員は各回50人。③は6月25日(土)。10時と13時半。「カリン作り」対象は小学3年生～中学生。定員は各回50人。①②③とも要予約、参加費は500円。☎(549)2200の同館。

●青少年創作センター「夏休み(前期)創作教室」

①陶芸②工作Ⅰ③木工作④工作Ⅱ⑤モザイク画の各教室を開催。①は7月23日(土)25日(月)8月20日(土)27日(土)②③は7月23日(土)24日(日)25日(月)26日(火)④⑤は7月27日(水)28日(木)29日(金)30日(土)。対象は小・中学生。定員は各30人。申込み多数の場合は抽選。教材費は500円～1500円。詳細は問合せを。☎6月21日(火)までに、往復はがきに参加教室名、住所、電話番号、氏名、学校名・学年、性別を記して214-0034多摩区三田2-3303-1の同センター。☎(911)1510。

●簿記2級能力検定準備講座

7月7日～10月20日の月・木曜18時15分、全25回。場所は労働会館。先着35人。受講料22000円、教材費1700円程度。☎6月12日(日)9時から電話で。☎(222)4416。

●玉川大学公開講座

6月開講の▽野山の樹木を身近なものに▽植物染料で染める▽小児救急法講座など12講座の受講生募集。詳細は☎042(739)8895の同大学継続学習センター。

●日本女子大学公開講座

6月開講の▽中国文化講座～中華世界とニッポン▽近代の書簡から歴史を読むなどの受講生を募集。会場は同大西生田生涯学習センター。パンフレット無料送付。☎(945)3323。

●ハーバード大学クロコディロスコンサート

6月25日(土)14時開演、川崎市国際交流センター。世界各地で多くの人々を魅了し続けている12人のアカペラ男声コーラスグループの公演。ジャズ、スイング、バラード、ポップスを踊りながら歌う。入場料2000円。先着230人。☎(435)7000の川崎市国際交流協会。

●川崎市定期能6月公演

6月11日(土)、川崎能楽堂。第1部は13時開演。演目は「藤

戸」。出演は梅若六郎、角当直隆他。第2部は15時開演。「雲林院」。角当行雄他。各3500円。チケットは同所で発売中。☎(222)8821の川崎市文化財団。

●混声合唱団「樹林」創立20周年記念演奏会

6月12日(日)13時開演、ミュゼ川崎シンフォニーホール。ヘンデル「メサイヤ」。指揮は今村能、オーケストラはフィルハーモニア多摩。2500円。☎(977)8629の大熊さん。

●ランチタイムコンサート

6月15日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。出演はバイオリンの廣岡克隆。「タイスの瞑想曲」「ユーモレスク」他。無料。☎(520)0200のミュゼ川崎。

●2005第3回ミュゼランチタイムコンサート

7月5日(火)12時10分開演、ミュゼ川崎シンフォニーホール。出演は、三浦はつみ(パイプオルガン)アントニオ・マルティ(トランペット)福井貴子(イングリッシュホルン)。バッハ「前奏曲とフーガ」、ヘンデル「組曲ニ長調」他。500円。☎(520)0200のミュゼ川崎。

●三世代が楽しめる3B体操「川崎のつどい」

6月17日(金)12時半、川崎市生涯学習プラザ。演技発表、体操、ゲームなど。参加の場合は体操のできる服装で。費用300円(保険料他)。保育あり。☎(877)4143の山崎さん。

●北に澄む～村上善男展

7月3日(日)まで。岡本太郎美術館。岡本太郎との交流から、東北の風土に根ざした制作を続けてきた村上善男の絵画など110点。一般900円、高・大学生700円。小・中学生、65歳以上は無料。月曜休館。☎(900)9898。

●ミニ画廊スナック琴①写真②アクリル画③ちりめん細工④書

①6月18日(土)まで久保栄の尾瀬の風景作品▽7月2日(土)～16日(土)まで山口昭弘のアフリカ作品▽7月30日(土)～8月13日(土)まで小倉玲子グループの花・風景作品。②6月18日(土)～7月2日(土)まで画廊会の作品。③7月16日(土)～30日(土)まで中村雅美の作品。④8月13日(土)～27日(土)まで江崎書道教室の作品。作品の展示は無料。場所は幸区鹿島田。☎(544)0507。

..... 編集室から

■夏季号(7・8月合併号)は全ページ「かわさき市民アカデミー特集号」になり、秋に開講するアカデミーの講座を16ページで紹介する予定です。したがって、夏季号のみ他のコーナーは全て休載となります。あらかじめご了承ください。

■「イベントパーク」欄へ掲載を希望される方へ。夏季号は休載し9月号から再開します。掲載希望の方は7月末日までに情報をお寄せください。詳細はお問い合わせください。

今月の表紙

1927(昭和2)年の作品。折本/紙本彩色。20.5×24.5cm。川崎市市民ミュージアム所蔵。

岡本一平は大正11年と昭和4年～7年の2度にわたって世界一周旅行を行い、その見聞を絵や文章に数多く記録している。この「ヴェニス相合船」は、大正11年の最初の世界旅行を描いた肉筆図絵である。この旅行を通じて、一平は欧米の漫画事情や国際情勢に理解を深め、その後の作品に生かしている。